

潜在看護師に係る意識調査を実施しました！

【トピックス】令和2年2月27日
大阪労働局 雇用環境・均等部 企画課
06-6949-6505

85%の方が、看護職への復職を希望！！

～ 看護職不足を改善するためには**子育て関連支援**と**キャリアアップ支援**が必要 ～

大阪労働局（局長 井上 真）では、関係機関と連携し、令和元年11月に「潜在看護師に係る意識調査」を実施しました。

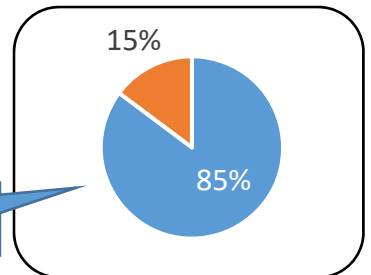
※ 潜在看護師とは・・・**看護師等（保健師・助産師・看護師・准看護師）の免許を持ちながら、その仕事についていない人**をいう。

※ 1 関係機関

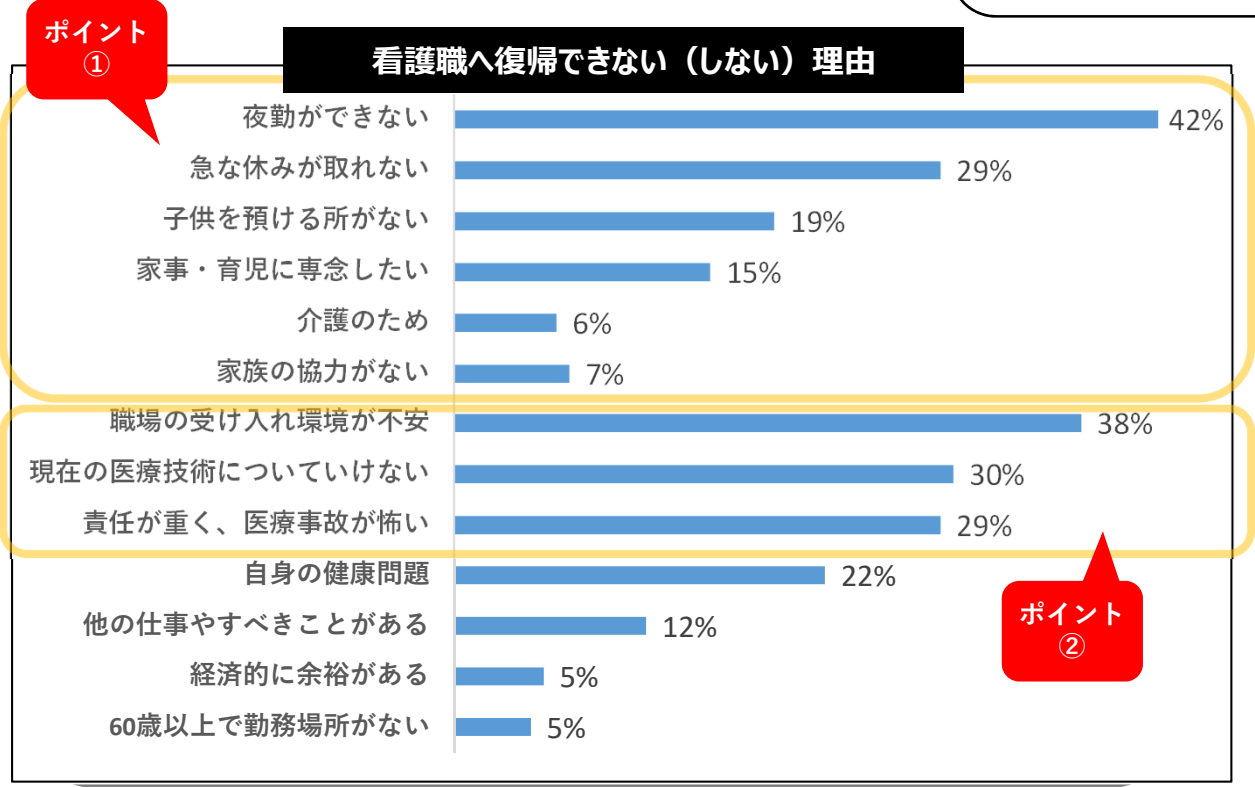
大阪府・大阪府ナースセンター・大阪府医療勤務環境改善支援センター

※ 2 調査対象

潜在看護師3,562名（323名回答 回答率9.1%）



看護職への復職を希望する方は全体の85%！



ポイント
①

ポイント
②

ポイント ① 「夜勤ができない」「急な休みがとれない」という悩み

- ✓ 「夜勤ができない」、「急な休みが取れない」など、就労環境の問題から、復職を希望しない方が多数見られた。
- ✓ 回答者の半数以上が30歳代・40歳代の女性であったこともあり、「子供を預ける所がない」、「家事・育児に専念したい」、「家族の協力がいない」など、多くの方が家事・育児の関係から、復職を希望しないとしている。

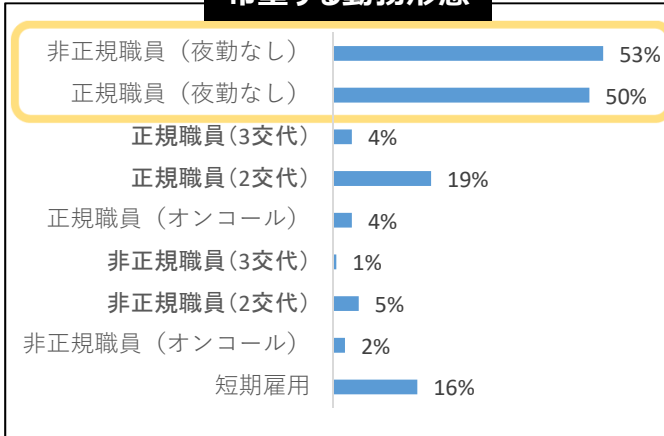
ポイント ② 「現在の医療技術についていけない」という不安

- ✓ 「職場の受け入れ環境が不安」、「現在の医療技術についていけない」、「責任が重く、医療事故が怖い」など、技術面・ブランク等の不安から復職を希望しない方が多数見られた。

ポイント
①

「夜勤ができない」「急な休みがとれない」
という悩み

希望する勤務形態

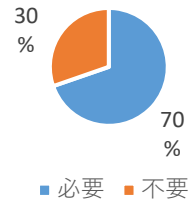


✓「正規職員」「非正規職員」ともに、半数以上の方が「夜勤なし」を希望されている。

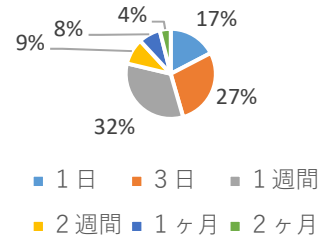
ポイント
②

「現在の医療技術についていけない」
という不安

全体の70%の方が研修を希望！

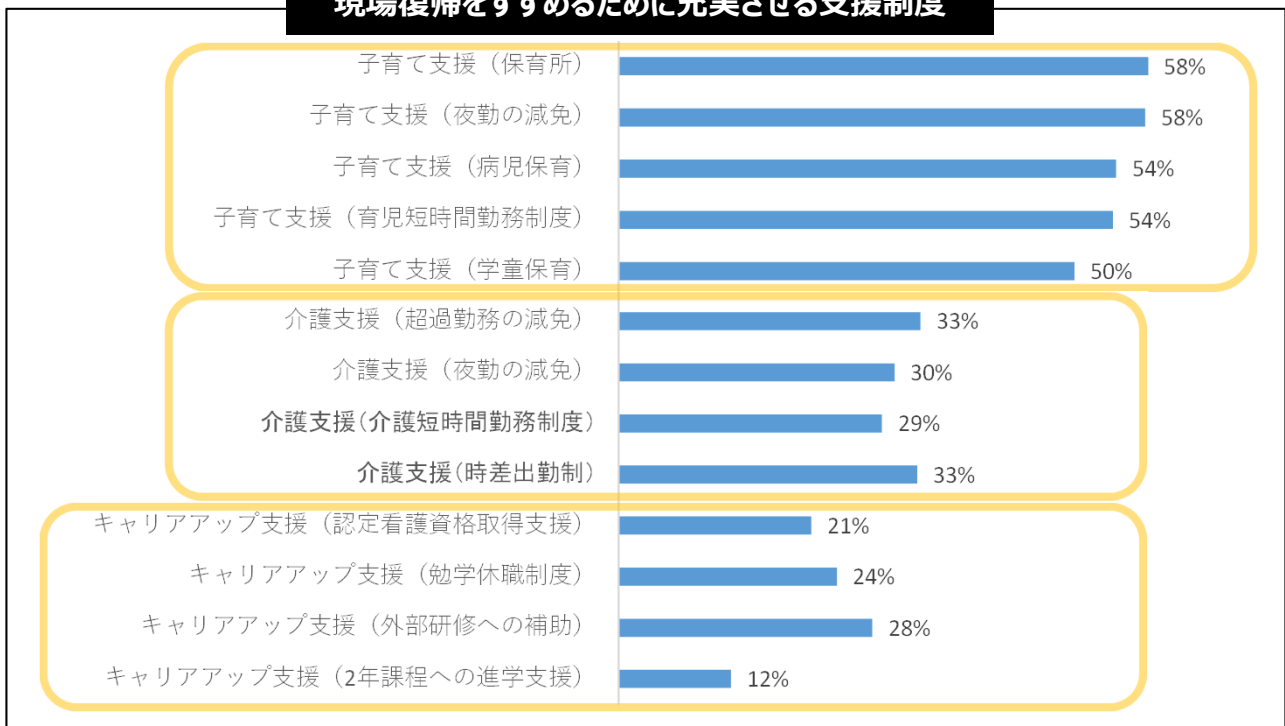


1日	17%
3日	27%
1週間	32%
2週間	9%
1ヶ月	8%
2ヶ月	4%



半数以上の方が3日～1週間の短期の復職前研修を希望！

現場復帰をすすめるために充実させる支援制度



✓ 潜在看護師の復職をすすめるには、主として「子育て支援」「介護支援」「キャリアアップ支援」が必要。

✓ 「子育て支援の充実」については、半数以上の方が必要と感じている。
とりわけ「保育制度の充実」と「勤務時間の柔軟な対応」を求めている。

✓ 「キャリアアップ支援（研修制度の充実）」を希望している方も見られた。

➡ 詳細は次ページへ

「潜在看護師に係る意識調査」結果とりまとめ

令和2年2月

大阪労働局

大阪労働局では、大阪府、大阪府ナースセンター^{※1}（以下「ナースセンター」という）、大阪府医療勤務環境改善支援センター^{※2}（以下「勤改センター」という）と連携して「潜在看護師^{※3}に係る意識調査」を実施し、その結果を以下のとおり取りまとめた。

1 調査の背景

- ・ 「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」（H22.12.21）では、2025年における看護職員の不足数は全国で4.1万人～12.1万人と推計されていたが、令和元年9月30日に開催された「医療従事者の需給に関する検討会第11回看護職員需給分科会」での資料「医療従事者の需給に関する検討会第11回看護職員需給分科会中間とりまとめ（案）」では、2025年の看護職員の不足数を6.1万人～27.3万人と推計しており、不足数は大幅に増大している。

なお、とりまとめ（案）では都道府県別の不足数も暫定値で示されており、大阪府では3.5万人～4.6万人が不足すると推計されている。

- ・ 一方、「看護職員の現状と推移」（H26.12.1「第1回看護職員需給見通しに関する検討会」資料）では、平成22年末現在で潜在看護職員は約71万人と推計されている。

2 調査の目的

- ・ H18 年に実施された「潜在看護職員調査」では、看護職として復職を希望している者は 77.6%と高いものの、子育て（43.8%）、夜勤の負担（15.9%）などの理由で復職が進んでいないとみられる。
- ・ 前記のとおり、大阪府でも相当数の看護師不足が生じていると推定される。
- ・ 本調査は、潜在看護師の看護職への復帰にむけての動向、復帰する上での障害要因等を把握し、医療機関等へ情報提供することで、求人条件の見直し等が行われることで、潜在看護師の復帰に向けての環境整備を図ることを目的とする。

3 調査項目

別添「看護職等への復帰に関する意識調査」調査票のとおり（調査票は大阪労働局のホームページ上に設定する。）

4 調査手順

- (1) 本調査は、ナースセンター、勤改センター、大阪府、大阪労働局が連携して実施する。
- (2) 調査対象者はナースセンターが連絡先メールを把握している潜在看護師 3,562 名とする。調査はオンライン調査で実施することとし、ナースセンターから調査対象者へメールで調査への協力依頼を行う。
- (3) メールに調査票へのリンクを張り、調査への協力者はリンク先で調査票に回答、送信する。
- (4) 送信された調査票は、勤改センター及び大阪労働局が共同でデータベース化して分析する。

調査結果

- ・ 回答者数 323名（回収率9.1%）
- ・ 各質問の回答の分布は別紙2のとおり

（トピックス）

- ① 看護職への復帰を希望する者は85%と高い水準にある。
- ② 復帰できない理由は、「夜勤ができない」、「職場の受け入れ環境が不安」、「現在の医療技術についていけない」が多い。
- ③ 希望する勤務形態は、「夜勤なし」の正規職員もしくは非正規職員が圧倒的に多い。
- ④ 「就労日の希望」と「就労時間の希望」をクロス集計したところ、1日6時間以内の勤務を希望する者の8割は週4日以内の勤務を希望し、1日6時間以上の勤務を希望する者の9割は週4日以上勤務を希望している。
- ⑤ 就労を希望する施設は、病院では200～499床の中規模病院が、病院以外では無床の診療所、健診センター・労働衛生機関が多い。
- ⑥ 復職前の研修は7割が必要としている。特に、離職期間が5年以上の者の9割が研修は必要としている。
- ⑦ 研修期間は、離職期間が5年以内の者の8割が1週間以内としている一方、離職期間20年以上の全員が1週間以上としている。

5 調査結果の活用

調査結果は、大阪労働局、勤改センターのホームページ上で公開する。

本調査結果を踏まえ、求人の勤務形態、復職前研修の実施状況等について、医療機関を対象としたアンケートの実施を検討する。

※1 大阪府ナースセンター

平成4年に制定された「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、中央と各都道府県に設置された。中央ナースセンターは日本看護協会が厚生労働省から、大阪府ナースセンターは（公社）大阪府看護協会が大阪府から指定を受けて運営している。

業務の内容は、無料職業紹介（ナースバンク）事業、復職支援の相談および研修事業、離職時等の届出制度に関する支援事業、看護職を目指す方への進路相談等の調査等である。

※2 大阪府医療勤務環境改善支援センター

医師、看護師等の医療従事者の離職防止や医療安全の確保等を図るため、改正医療法（平成26年10月1日施行）に基づき、医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組みとして勤務環境改善マネジメントシステムが創設されるとともに、各都道府県に医療勤務環境改善支援センターが設置されました。大阪府では（一社）大阪府私立病院協会が運営している。

※3 潜在看護師

看護師等（保健師、助産師、看護師、准看護師）の免許を持ちながら、その仕事に就いていない人をいう。

平成27年10月に改正「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が施行され、氏名や連絡先などの基本情報を都道府県ナースセンターに届け出ることが必要になった。

「看護職等への復帰に関する意識調査」質問票

質問1 性別
男性
女性

質問2 年齢
～19歳
20歳～29歳
30歳～39歳
40歳～49歳
50歳～59歳
60歳～

質問3 看護師として就労した期間はどれくらいですか？

経験なし
～1年
1年～5年
5年～10年
10年～20年
20年以上

質問4 看護師を離職してからの期間はどれくらいですか？

～1年
1年～5年
5年～10年
10年～20年
20年～

質問5 看護職への復帰希望はありますか？

有
無

「有」のときは質問7へ

質問6 復帰できない（しない）理由は何ですか？ （複数回答可）

職場の受け入れ環境が不安
責任が重く、医療事故が怖い
夜勤ができない
急な休みが取れない
子供を預ける所がない
介護のため
家事・育児に専念したい
家族の協力がいない

経済的に余裕がある
自身の健康問題
他の仕事やすべきことがある
ブランクが長く、現在の医療技術についていけない
60歳以上で勤務場所がない
その他

質問15以下にもお答えください

質問7 希望する職種は何ですか？ (複数回答可)

看護師
准看護師
保健師
助産師
その他

質問8 どのような勤務形態を希望しますか？ (複数回答可)

正規職員 (3交代)
正規職員 (2交代)
正規職員 (オンコール)
正規職員 (夜勤なし)
非正規職員 (3交代)
非正規職員 (2交代)
非正規職員 (オンコール)
非正規職員 (夜勤なし)
短期雇用
その他

「非正規職員」、「短期雇用」を選択された方は質問9へ、その他の方は質問11へ

質問9 希望する就労日はどれですか？

週1日
週2日以内
週3日以内
週4日以内
週5日以内

質問10 希望する就労時間はどれですか？

1日4時間以内
1日4～6時間
1日6～8時間
1日8時間以上

質問11 どのような施設での就労を希望しますか？ (複数回答可)

- 病院 (500床以上)
- 病院 (200～499床)
- 病院 (20～199床)
- 診療所 (有床)
- 診療所 (無床)
- 介護施設
- 社会福祉施設
- 訪問介護ステーション
- 保健所・保健センター
- 看護系大学・看護学校
- 保育所・幼稚園
- 健診センター・労働衛生機関
- 企業・事業所
- その他

質問12 看護職への復職にあたり事前の研修は必要ですか？

- 必要
- 不要

「不要」のときは質問15へ

質問13 受講を希望される研修項目は何ですか？ (複数回答可)

- 採血・静脈注射・筋肉注射
- BLS (心肺停止または呼吸停止に対する一時救命処置)
- 褥瘡・創傷ケア
- 経管栄養・吸引
- 感染予防
- 医療機器の取扱い (輸液ポンプ)
- 記録と電子カルテの入力方法
- 個人情報保護
- 復職における心構え・交流会
- 医療機関での実習
- 看護の動向
- その他

質問14 研修期間はどれくらいを希望されますか？

- 1日
- 3日
- 1週間
- 2週間
- 1月
- 2月

その他

質問 15 看護職以外の職種での医療機関等での就労の希望はありますか？ (複数回答可)

医療事務作業補助者

医療事務

診療情報管理士

臨床心理士

その他

質問 16 未就労の看護師の現場復帰をすすめるために充実させる必要がある支援制度は何ですか？ (複数回答可)

子育て支援 (保育所)

子育て支援 (学童保育)

子育て支援 (病児保育)

子育て支援 (超過勤務の減免)

子育て支援 (夜勤の減免)

子育て支援 (育児短時間勤務制度)

介護支援 (超過勤務の減免)

介護支援 (夜勤の減免)

介護支援 (介護短時間勤務制度)

介護支援 (時差出勤制)

キャリアアップ支援 (認定看護資格取得支援)

キャリアアップ支援 (勉学休職制度)

キャリアアップ支援 (外部研修への補助)

キャリアアップ支援 (2年課程への進学支援)

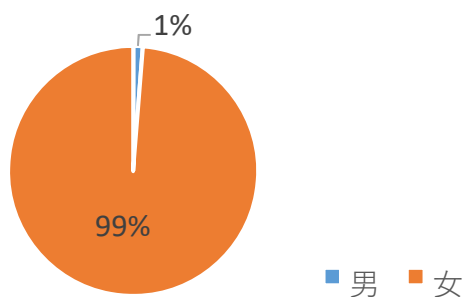
その他

質問 17 この調査や看護職への復帰等について、ご意見があれば記入ください。

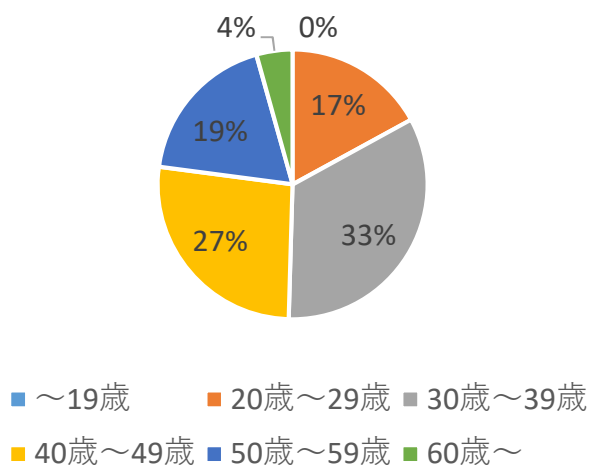
回答集計結果

1 各質問に対する回答分布は以下のとおり

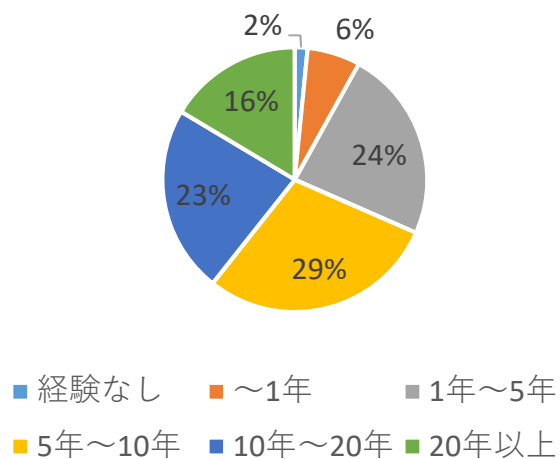
質問1 性別



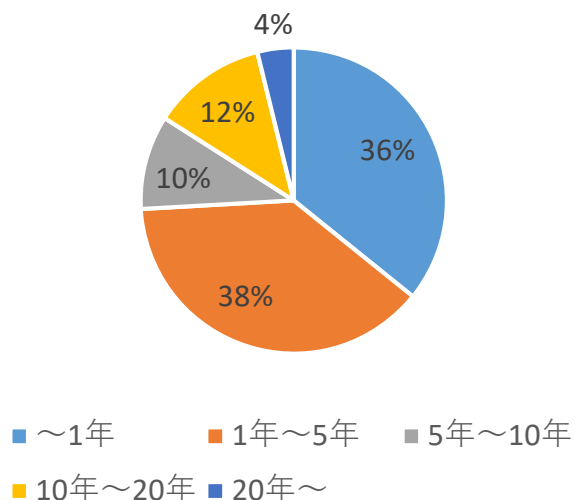
質問2 年齢



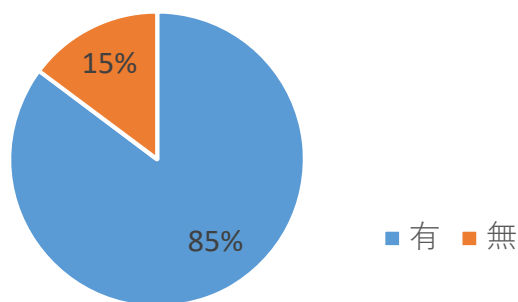
質問3 看護師として就労した期間



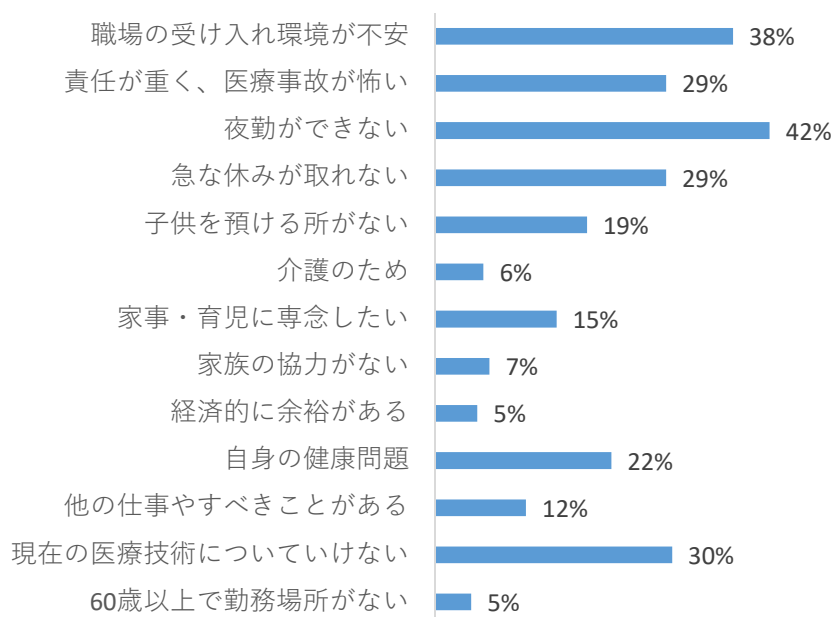
質問4 看護師を離職してからの期間



質問5 看護職への復帰希望



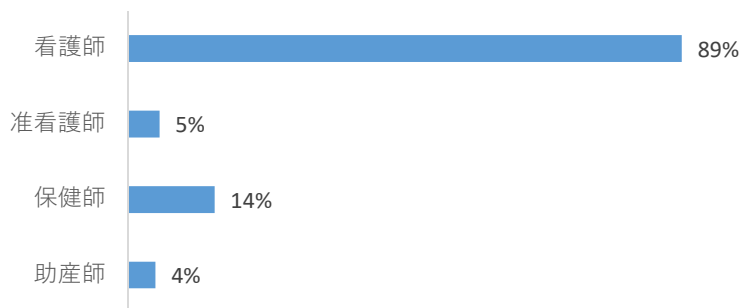
質問6 復帰できない（しない）理由（複数回答可）



「その他」記載（抜粋）

- * 激務の上に残業したくない
- * 先輩看護師の理不尽な叱責や八つ当たりが怖い
- * 定時で帰れない
- * 業務が厳しいわりに賃金が低い
- * 復帰したいが45歳以上の者を積極的に雇用する病院が少ない

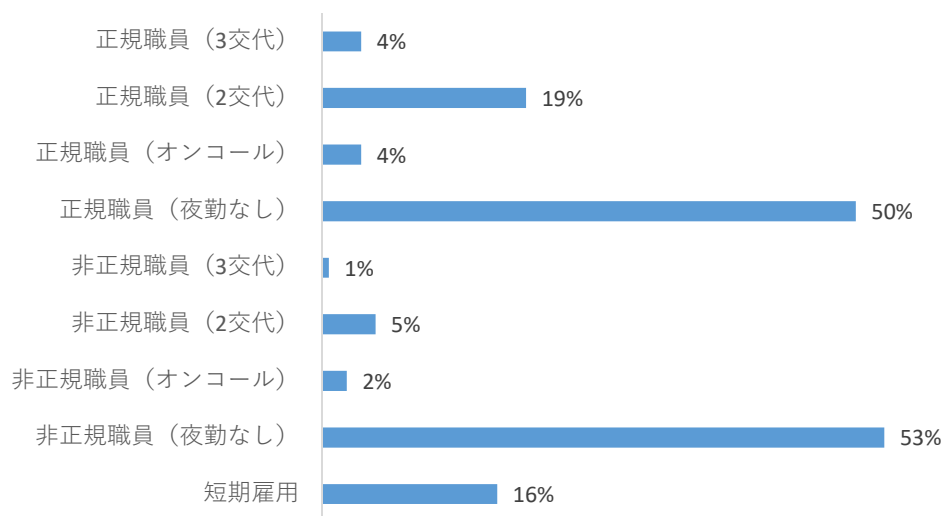
質問7 希望する職種



「その他」記載（抜粋）

- * 保育士
- * 養護教諭
- * ケアマネージャー
- * 介護支援専門員
- * 看護補助者

質問8 希望する勤務形態（複数回答可）

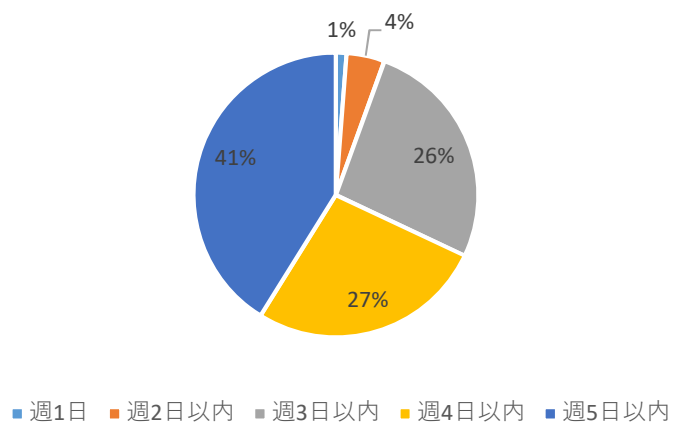


オンコール： 医療機関等で採用されている勤務体系のひとつで、急患時の対応役として自宅等で待機するもの

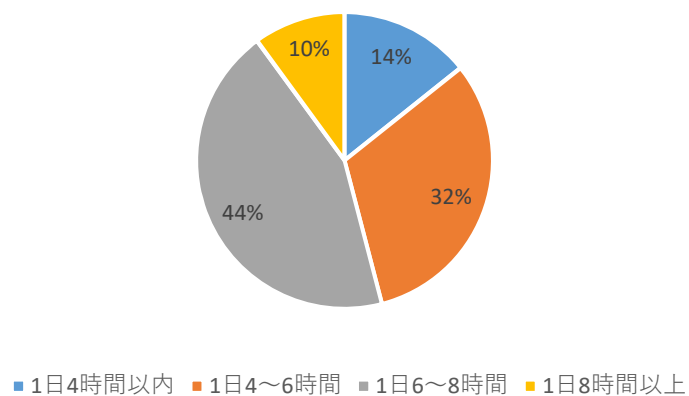
「その他」記載（抜粋）

- * パートタイマー
- * 短時間正規職員

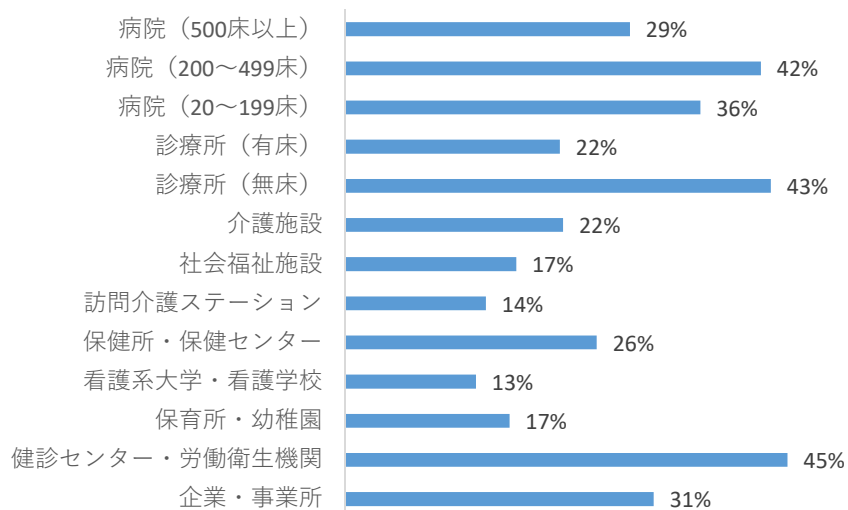
質問9 就労日の希望



質問10 就労時間の希望



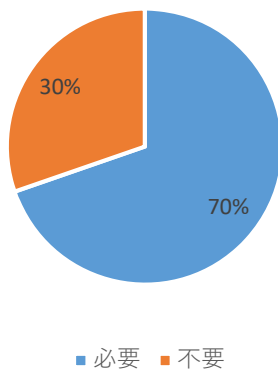
質問11 就労を希望する施設



「その他」記載 (抜粋)

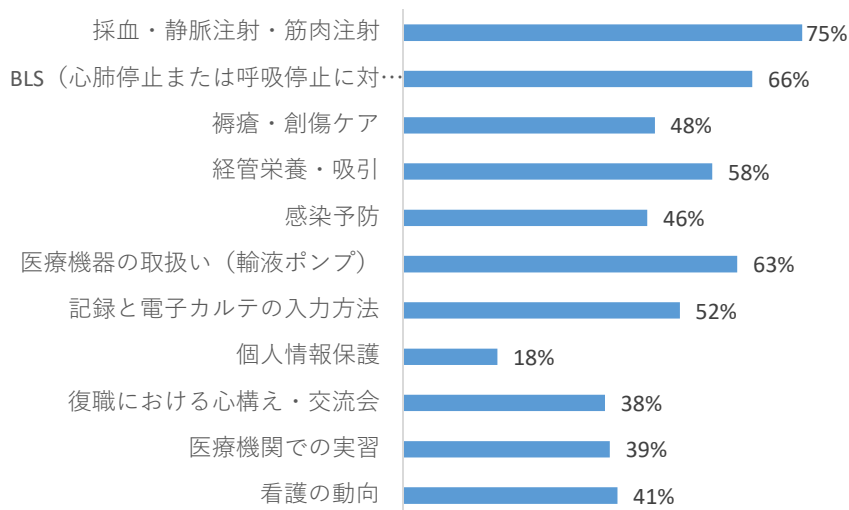
- * 学校 (養護教諭、学校看護師)
- * 保健所
- * 地域包括支援センター
- * 訪問看護ステーション

質問12 看護職復職前の研修の要否



■ 必要 ■ 不要

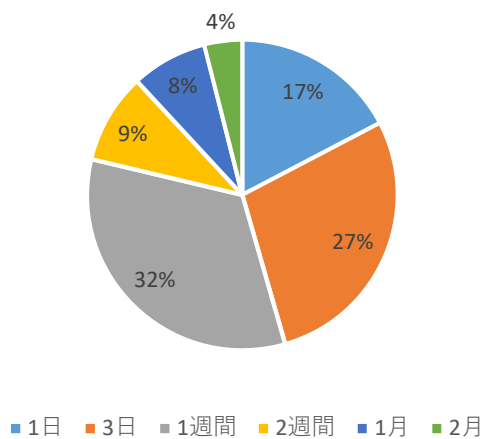
質問13 受講を希望する研修項目



「その他」記載 (抜粋)

- * おむつ交換、移乗動作、排泄ケア(含ストーマケア)
- * 診療報酬、介護保険制度等の制度
- * 就労予定施設での体験実習
- * 養成所で習う看護技術を一通り

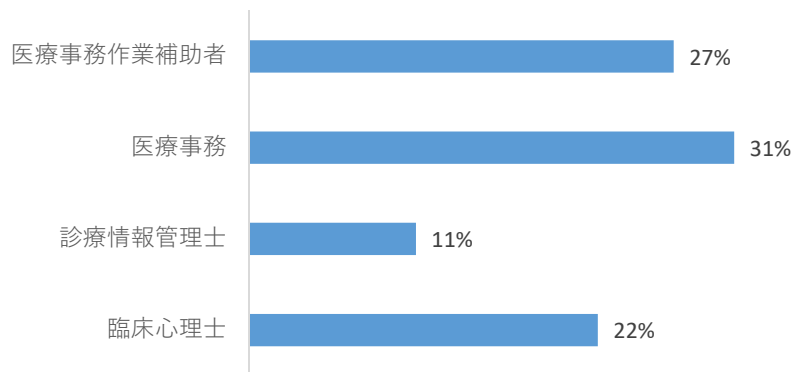
質問14 希望する研修期間



「その他」記載 (抜粋)

- * 託児できる時間があるので10時～15時の時間帯で
- * 週1～2回、2か月の研修を受け復職に自信がもてた
- * 復職支援研修が充実すればブランク期間が短くなると思う
- * 配属先以外で1週間、配属先で3週間

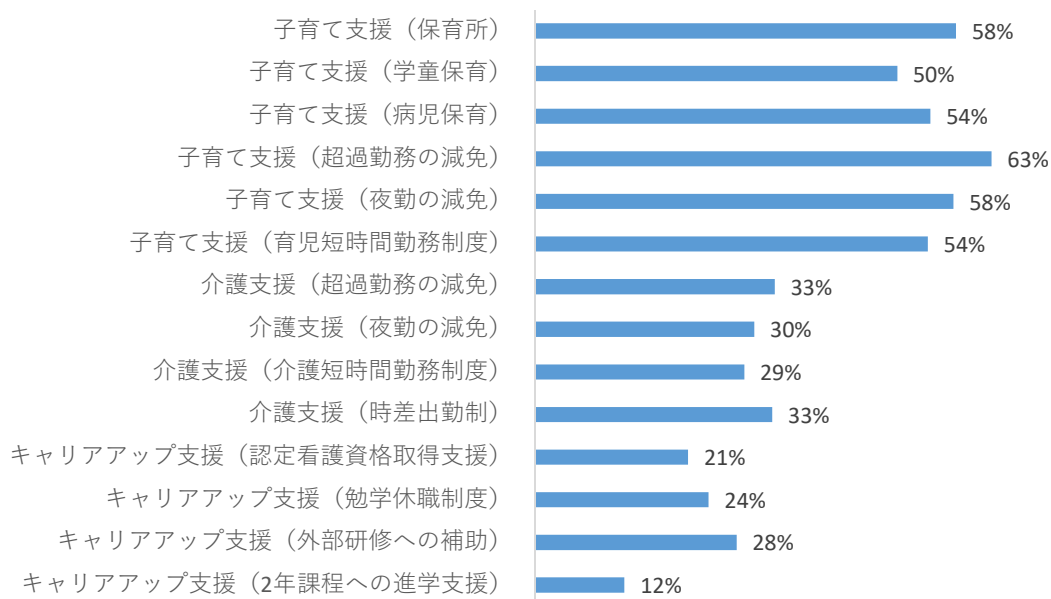
質問15 看護職以外の職種での就労希望



「その他」記載（抜粋）

- * 介護支援専門員
- * 看護助手
- * 治験／臨床研究コーディネーター
- * 精神保健福祉士

質問16 潜在看護師の現場復帰をすすめるために必要な支援制度

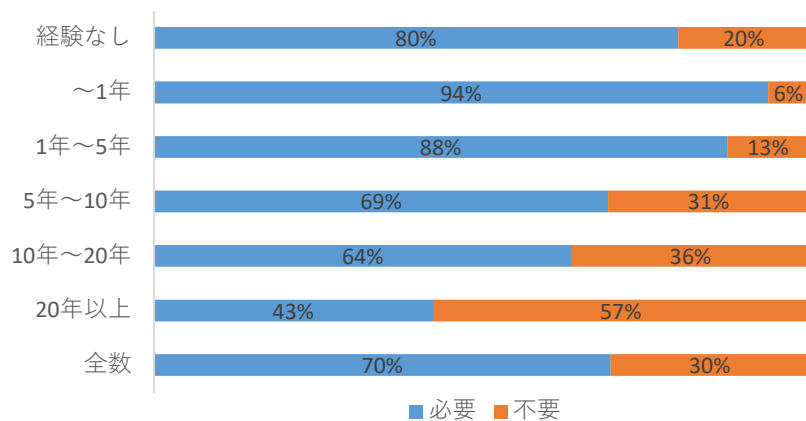


「その他」記載（抜粋）

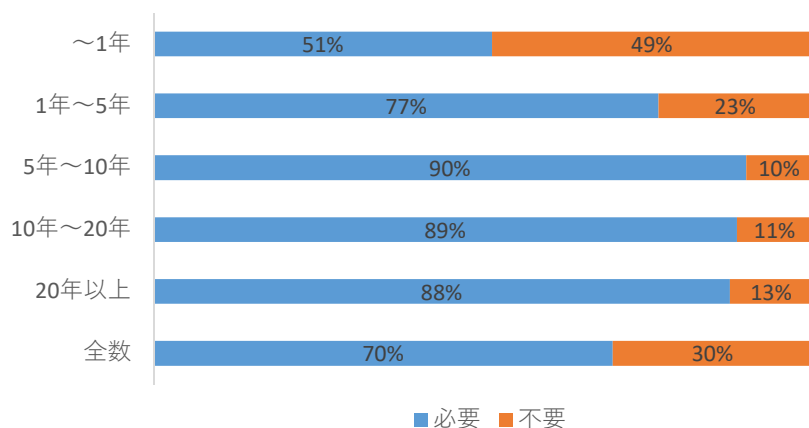
- * 病気との両立支援（超過勤務の減免、夜勤の減免）
- * 病気休職後の復職支援
- * 養成機関での看護技術取得に対する支援
- * 障害者雇用支援
- * 短時間正社員制度の導入

2 2つの質問に対する回答のクロス集計は以下のとおり

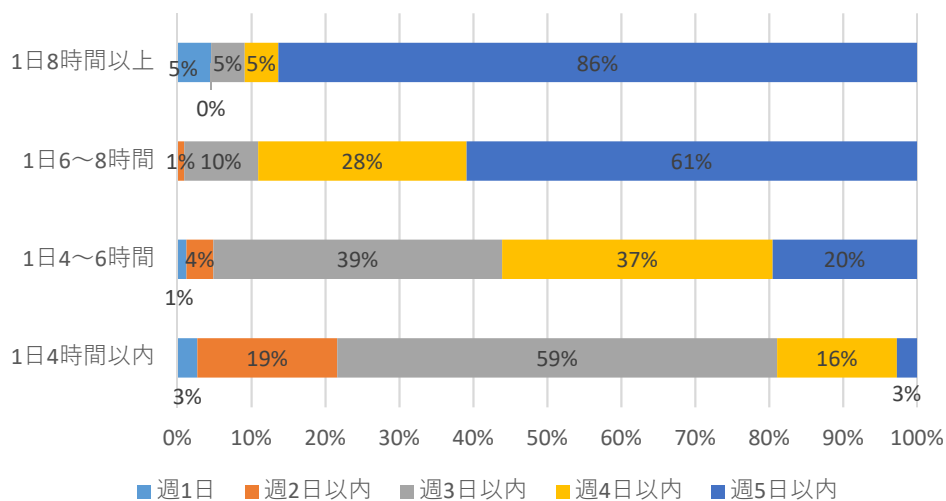
(1) 質問3「就労期間」と質問12「復職前研修の要否」



(2) 質問4「離職期間」と質問12「復職前研修の要否」



(3) 質問9「就労日の希望」と質問10「就労時間の希望」



(4) 質問4「離職期間」と質問14「研修期間」

